



第6回和歌山県データ利活用コンペティションに参加しました!

12月17日(土)に「第6回和歌山県データ利活用コンペティション」(全国から予選を通過した7チームによるプレゼンテーション)が開催され、本校からは2年環境科学科数学ゼミのチーム「ONCE」(岸田 時尚さん,河野 新汰さん,福田 桃花さん,堀端 大貴さん,前岡 伸之介さん)が予選を通過し、「農業×グランピングで導き出す和歌山の未来」という題で発表を行いました。地元和歌山の未来をよりよくするため、様々なデータを集めエビデンスを重要視しながら、グランピングとアグリカルチャーを掛け合わせた「アグランピング」という政策を提案し、第2位にあたる「政策アイデア賞」を受賞しました。近年、統計やデータの分析が重要視されてきており、大学で学ぶ専門的なデータ解析を行っている学校もあり、全国の高校における統計・データの分析の力が飛躍的に向上してきていると感じました。また、来年度も向陽からこの大会に参加し、大賞受賞を狙いたいと考えています。ぜひ、我こそはと思う方は、数学科職員室の扉たたいて下さい。



令和4年度第1回先端科学講座(数学)が開かれました!

12月22(木)、環境科学科1年生を対象に和歌山大学教育学部准教授の北山秀隆先生による先端科学講座が開かれました。『面白い(かもしれない)数のおはなし』と題された本講座は、イントロダクションとして数題のクイズから始まりました。徐々に難易度が上がるクイズにも生徒達は怯むことなく果敢に挑戦し、我先にと解答を競っている様子でした。ラマヌジャン、ペレルマン、フィボナッチ、コラツツ、ソフィ・ジェルマンなどなど、様々な高名な数学者の名前が登場し、好奇心は大いに刺激されました。幾つかの未解決問題も紹介され、それに対して生徒達自身で確認する作業も行われました。その作業を通じて、数学の研究は高校生にも可能で、研究材料は身近な数字の中に隠れているということを学びました。ワクワク感に満ちた45分×2の素敵な時間は、あっという間に過ぎ去りました。未来の数学者が、ここから誕生することを期待したいと思います!

